

## 議決権行使レポート

証券コード 5232

会社名 住友大阪セメント（株）

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分	○		
第2号議案 取締役9名選任			
関根 福一 氏	○		
諸橋 央典 氏	○		
大西 利彦 氏	○		
土井 良治 氏	○		
小西 幹郎 氏	○		
関本 正毅 氏	○		
牧野 光子 氏	○		
稲川 龍也 氏	○		
森戸 義美 氏	○		
第3号議案 監査役1名選任			
起塚 岳哉 氏	○		

### 上記の推奨をした理由

#### ● 第一号議案 剰余金の処分の件：賛成

当期の配当金は1株につき120円。

下表は、同社の過去5年間の配当性向と現金及び預金保有高の推移である。

	2023.3	2022.3	2021.3	2020.3	2019.3
配当性向 (%)	△71.9	45.7	39.4	42.4	55.2
現金及び預金 (億円)	145	131	187	159	153

#### ・ISSによる「2023年度版 日本向け議決権行使助言基準」

ISSによると、「配当性向が15%から100%の場合、通常は賛成を推奨する。」としている。当期は親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスとなったため、配当性向が負の値を取ったが、企業内部に蓄えた資本から配当金を拠出しており同社が株主還元を重視していると判断できる。よって過去5年間の配当性向の推移より、問題はないと判断した。

#### ・GLASS LEWISによる「2023 Policy Guidelines – Japan」

GLASS LEWISは「原則的に、企業の配当金(または無配当)の方針を支持する。

」としており、精査する際の勘案事項として「過去数年における現金の保有状況」をその一つに挙げている。上表より、同社は現金及び預金高を過去5年間に於いて概ね一定に保っている。このことから、問題はないと判断した。

以上より、**剰余金の処分について賛成する。**

#### ● 第二号議案 取締役9名選任の件

同社は、「指名・報酬委員会」を設置しており、指名委員会等設置会社に区分される。また、親会社や支配株主は存在しない。

ISSは新型コロナウイルス感染症の世界的流行が企業業績に与える多大な影響を踏まえて、ROEに関する評価基準を現在においても一時停止しているため、本レポートにおいても考察対象外とする。

第二号議案に関しては、ISSとGLASS LEWISの両社の議決権行使助言基準に準拠し以下の3つの観点に基づいて判断を行う。

##### ① 独立性

ISSは、取締役会に占める社外取締役（独立性は問わない）の割合が3分の1未満の場合、またはISSの独立性基準を満たす社外取締役が2名未満の場合、取締役の過半数が独立していない場合、にそれぞれ責任のある取締役に反対を推奨するとしている。

GLASS LEWISは、独自に定義する独立役員が取締役会の3分の1以上であることを独立性基準としている。

##### ② 取締役会への出席状況

ISSは、前会計年度における取締役会の出席率が75%未満の社外取締役に反対を推奨するとしている。

GLASS LEWISは、年間を通して出席率が75%に満たない役員に対して反対助言を行うとしている。

##### ③ ジェンダー・ダイバーシティ

ISSは、取締役会に女性取締役が一人もいない場合、反対を推奨するとしている。

GLASS LEWISは、「プライム上場企業については、少なくとも10%のジェンダー・ダイバーシティがない場合、原則として反対を表明する。」としている。

・ 関根 福一 氏：**賛成**

#### 1. 独立性

→独立役員が取締役会の3分の1以上を占めており、その責任を果たしているため、問

題なし.

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし.

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→女性役員が取締役に1名いるため、問題なし.

・諸橋 央典 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役ではなく、同社で長年勤務しており、特記事項なし.

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし.

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・大西 利彦 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役ではなく、同社で長年勤務しており、特記事項なし.

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし.

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・土井 良治 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役ではなく、特記事項なし.

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし.

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・小西 幹郎 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役ではなく、同社で長年勤務しており、特記事項なし.

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし.

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・関本 正毅 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役ではなく、同社で長年勤務しており、特記事項なし。

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし。

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・牧野 光子 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役として取締役会の独自性の確保のために選任という判断は妥当である。

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし。

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→取締役唯一の女性であり、ジェンダー・ダイバーシティの観点から重要な存在だと判断した。

・稲川 龍也 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役として取締役会の独自性の確保のために選任という判断は妥当である。

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし。

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

・森戸 義美 氏：**賛成**

1.独立性

→社外取締役として取締役会の独自性の確保のために選任という判断は妥当である。

2.取締役会への出席状況

→取締役会への出席率は100%のため、問題なし。

3.ジェンダー・ダイバーシティ

→特記事項なし

●第3号議案 監査役1名選任

・起塚 岳哉 氏：**賛成**

→起塚氏は、長年同社で企画・管理部門に携わった経験と実績があり、かつ株主の利益に相反する懸念事項が存在しないため、選任は妥当である。